

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 31日

事業所名 ぽんぽこはうすluce

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	曜日によって混雑している時もある為宿題、余暇などのパーティションで区切り工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	職員一人一人が全体を見渡せるように配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	17%	83%	事業所が2階にある為階段の昇降が気になる(手摺は設置されている)	階段の上り下りなどは下側に支援員がいるようにして落下を防止している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日のミーティングで話し合いを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	67%	33%	年度末にアンケート調査を行って、保護者様の意見を取り入れている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	17%	83%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	17%	83%		第三者による外部評価をいただき、改善に繋げていきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	外部研修や専門委員会の研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	モニタリングや連絡帳、送迎時にニーズをお聞きし計画書を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%		アセスメントツールを使用するように事業所内で発信していかなくてはならない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎日のミーティングで話し合い立案している(上司の意見も取り入れている)	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%	話し合いで意見を出し合っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%	毎朝のミーティングで話し合い課題を見直している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	67%	33%		全体的に集団活動が多いので、集団活動の中でも個別活動も組み入れていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	毎朝のミーティングで確認しあっている	

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	33%	67%	終了時間がバラバラな為、翌日に朝に行うことが多い。緊急を要する場合は集まれる職員で共有している	短い時間でもいいので 帰り送迎後に話し合う時間を作る
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の支援は業務日誌に記録し共有し、改善につなげている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	モニタリングは定期的に行い見直し改善に繋げている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	チームで話し合い、複数組み合わせを行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	67%	33%	学校との情報共有は出来ているとおもいますが、その時の対応先生によって情報が得られない時があった	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	17%	83%		今はないので新しく医療的ケア児が入って来た時の為に主治医との連絡の取り方などどんな感じでしたらいいかを共有しておく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%		管理者やマネージャーが主にしているので情報共有をしていることを知らない職員も多い。これを機に知ってもらえたら。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%	情報を伝えるようにしている	管理者やマネージャーが主にしているので情報共有をしていることを知らない職員も多い。これを機に知ってもらえたら。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	研修、会議に参加し、情報共有している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%	地域の公園を利用している時、地域の子供たちと交流するときがある	公園遊びで出会った児童さんと鬼ごっこなど一緒に遊ぶことも増えてきた
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	33%	67%	参加したことがない者もいるので、積極的に参加を心がける	参加したことがない者もいるので、積極的に参加を心がける
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡帳を通して保護者様と話しをし共有している	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	67%		ケアが必要な家庭もたくさんあるので積極的に行っていけたら
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様、児童の相談等はその都度事業所内の職員と話し合い支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		ケアが必要な家庭もたくさんあるので積極的に行っていけたら
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	報告、相談、連絡を徹底し事業所職員と話し合い周知している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月の行事予定表やSNSで発信している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	相手に伝わるように、言語、手話、絵カード等様々な方法で配慮している	

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナも落ち着いてきたので大きな行事を行い、地域の方も招きたいと思っている
----	------------------------------------	----	------	--	---------------------------------------

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	委員会を筆頭に全体会議、マニュアル見直し等行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	委員会を中心に年2度は必ず避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	組織的に取り決め、決定し、やむを得ずのときはその時の経緯を必ず保護者様にお伝えしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%	保護者を通して医師の指示を確認し面談表などに記載している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	業務日誌、アクシデントレポートファイルを作成し共有している	